

資料展示

「広島小説」じゃけん！ ～過去5年間の出版物から～

の中からピックアップして御紹介します。

『わが槍を捧ぐ：戦国最強の侍・可児才蔵』

鈴木英治／[著]，角川春樹事務所，2015【H97/スエ115ア】（リスト38番）

広島藩主であった福島正則など，多くの戦国武将に槍の腕一本で仕えた侍，可児才蔵の一代記。

『ランニング・ワイルド』

堂場瞬一／著，文藝春秋，2017【H97/トウ117ア】（リスト41番）

瀬戸内海のとびしま海道で行われる「アドベンチャーレース」参加の直前に，主人公である機動隊員の妻子が誘拐された！レースの勝利を目指しながら，犯人を捕まえることができるのか。

『鯉のはなシアター』

榎本壮志／著，ザメディアジョンプレス，2017【H97/マソ117ア】（リスト69番）

主人公の祖父が経営する映画館は，経営難で閉館間近。そこに，カープを見習って映画館を復興させよう，と呼びかける男が現れる。男の正体は？そして，映画館は存続できるのか。

『もってけ屋敷と僕の読書日記』

三川みり／著，新潮社，2017【H97/ミミ117ア】（リスト73番）

尾道を舞台に繰り広げられる，本に埋もれた屋敷を終活整理する老人と中学生の主人公との交流の物語。『老人と海』や『岳物語』など，登場する作品も読みたくなります。

『自動車に夢を賭けた男たち：明治の若き群像』

山崎新光／著，風詠社，2014【H97/ヤマ114ア】（リスト85番）

明治30年代に，広島で乗合自動車に情熱を傾けた男たちの物語。史実を素材にしたフィクションで，巻末の参考資料は圧巻です。

『孤狼の血』 柚月裕子／著，KADOKAWA，2015【H97/ユヅ115ア】（リスト87番）

『凶犬の眼』 柚月裕子／著，KADOKAWA，2018【H97/ユヅ118ア】（リスト88番）

今年，役所広司主演で映画化された，呉を舞台にした警察小説。熱い広島弁が飛び交います。映画を観る前に読むもよし，映画を観てから読むもよし。

※【 】は，広島県立図書館の請求記号です。

（ ）は，別紙展示リストの資料番号です。

展
示
資
料
紹
介